

第 6 回 奈井江町まちづくり町民委員会（要約）

【日 時】 平成 22 年 7 月 7 日（水）午後 6：00～午後 8 時 3 分

【場 所】 役場（大会議室）

【出席者】 委員～11 名（欠席 4 名） 町～7 名

委 員	中野忠雄	○	遠藤共子	○	廣部健二	×	須崎正寿	×	山口俊哉	○
	鈴木孝一	×	岡本克也	○	佐藤憲弘	○	山 節子	×	横尾良昭	○
	稲垣直樹	○	森本由利江	○	佐々木勝幸	○	明石伸子	○	岩口直樹	×
町	北町長、三本副町長 事務局：碓井課長、石川主幹、相澤係長、遠藤主事 高橋主事									

1. 開会 碓井課長

2. 委嘱書の交付 北町長より、佐藤、横尾、稲垣の委員各位へ交付

3. 中野委員長 挨拶

連日、暑い日が続いており、体調崩される方もいるかと思います。6 月に入って思いがけない高温が続きました。暑い日が続くとゲリラ豪雨や突風、雷などが起こります。私のハウスの周りが水浸しになっており、ガッカリしました。奈井江川の水が濁り、工事か何かしているのかと思ったら、数年前の森林伐採によるものでした。植林をしていますが、なかなかすぐには戻らないようです。

参議院選挙が始まりますが、地域を支えてくれる人が選ばれるといいなと思います。

私もまちづくり委員会に選ばれていますので、委員として奈井江町について考える時間、気持ちを持っていきたいと思っています。

4. 町政運営等に関する主な動向について（北町長より）

委員長が言われたようにこの高温で、すっかり平年を取り戻してホッとしているところですが。しかし、今までは、あれだけのスコールは考えられなかったわけですが、気候変動による災害が出てくるわけですから安心はできません。

景気の動向が大きく変わってきました。昨年より、大変な状況になってきているのですが、幸いにして北海道住電精密さんは回復しております。先日、知事とともに住友電工の本社のある大阪へ視察に行ってきました。松本社長から、「今、景気は徐々に回復している」「円高等による不安もあるが、将来を見据えて、しっかりと事業に取り組んでいる」と伺い、奈井江町に関しては、「社員が非常に勤勉で、質が良く、人材に恵まれている」「地域との繋がりにより、企業が支えられている」と述べられました。私の方からは、「今後の住友電工グループの事業拡大にあっても、ぜひ奈井江町における投資をお願いしたい」と申し上げてきました。

さて、昨年、ご意見をいただいた「まちづくり計画・後期実施計画」は、第 1 回定例町議会で決定をいただいてスタートし、この計画をもとに今年度の予算編成を行いました。また、この計画に基づく財政計画も策定し、平成 26 年度末には 4 億 57 百万円の基金が残る予定です。

が、国の財政は今、危機に瀕しており、非常に不安定な状況ですので、これからの5カ年においても、財政規律を守り慎重な行財政運営に努めたいと考えています。

「このまちのデザイン」には記載していませんが過日、報道された「し尿処理」については、奈井江町のし尿は今まで砂川で処理をし、施設の老朽化により、今年度から歌志内の施設にお願いをしました。しかし、この施設にも限界があり、また滝川市など他の市町でも同様の課題を抱えているため、中空知下水道協議会の会議の中で、「奈井江町にある下水道終末処理場で、処理ができないものか」との意見が出されました。

そこで昨年、道と組合で調査を行い、処理自体は可能であるとの判断が出たことから、構成市町において今後、具体的な検討、協議を進めるとの意見の一致を見たというものであります。このことに関しては、今後も協議経過について、適宜、説明をして参りたいと考えています。

本年度、ライス・ターミナルの隣に利雪型の低温倉庫を建設します。去年は、農家の皆さんにとって厳しい1年となりましたが、新品種「ゆめぴりか」の栽培において、奈井江の生産技術は高い評価を得ています。ライス・ターミナルと一体化する利雪型の新施設で、米の高品質の維持と販売促進に期待をしています。

教育の分野においては、新たな教育ビジョンを策定する中において、子どもたちの教育にどう地域が係わっていくか、また医療の充実に向けた中核病院との連携において、一次医療がどのように役割を果たしていくか。道々の維持管理を道庁に向けて提言したときのように地域、現場から発信して、地域住民が住みよいまちづくりを実感できるような、取り組みを考えて行きたいと考えています。

また、これらの検討に係る部分として、公民館で仕事をしている教育長や職員の事務所を9月に役場に移転することにしました。これにより役場と教育委員会が、より迅速に連携できるため、学校教育や生涯学習が推進されます。また、今まで使っていた公民館内の事務所を会議室として町民に開放し、階段を使って2階の会議室まで行かなければならなかった高齢者に対応したサービスに繋がりたいと考えています。なお、図書館は、公民館等の施設管理と併せて職員を在庁させ、町民に対応させます。

最後に本年は、この町民委員会においては、特に次代を担う子どもたちの健全な育成、子育てしやすい環境づくりなどについて、ご意見をいただいて参りたいと考えていますので、よろしくお願いします。

5.議題

(1) 第5期まちづくり計画 後期実施計画について

石川主幹より内容説明

(委員) 6ページの道路に関するカタカナ表示は何でしょうか？

(碓井課長) 道路の枝線などの名称です。

去年の「町長と語る会」での意見交換のなかで、病院の前など、カラブロックのデコボコ道路は歩きづらいんだというご意見が出されたので、後期計画に登載し、今年の事業として取り組みました。

(北町長) 町内でも景気が回復してきていると思いますが、会社の状況はどうでしょう

か？

- (委員) リーマンショックで大きな影響を受けましたが、現在の製造量は戻っています。ただ、販売先が中国なので、売り上げは 1/3 程度になっています。作る側は非常に忙しくて、残業や休日出勤をしている状況で、忙しいだけありがたいと思います。中国の伸びは半端じゃなく伸びているという感じです。
- (委員) 最近の新聞折込みの求人チラシを見ると今までは派遣の募集が多かったのに契約社員として直に募集しているのを見て、何か動いているなと思いました。
- (委員) 自社で採用するのは、その方が、人気があって、いい人に来てもらえるからです。最初、募集を出す時に 1～2 回目に 50 人の応募がありました。若い人に来てほしいです。最初から社員での採用は難しいので、長く勤務していくと徐々に上がっていくという感じです。北海道住電精密と日研ツールはそういう感じですが、北海道電機もまあまあだと思います。
- (委員) 町外の方が、住居を奈井江に移すということはあるのですか？
- (委員) 北海道住電精密は全従業員が 400 人程いるのですが先日、町民の数を調べたら 120 人を切ったことがわかりました。従業員数は増えましたが、町内の人は何年か前に比べれば減りました。以前は 140 人程いたので、驚いています。
- (委員) せっかく募集しているので、新たに勤める方が奈井江町に住んでくれるといいですね。
- (委員) 温泉の近くに今は住んでいない民家がある。そこにある街灯は、もう不要だと思うので、他に必要な所に移動したらどうでしょうか？
- (北町長) 内部でよく調査し、検討して対応します。
- (委員) 山の方で、鹿の害が多くいので、何とかいい方法はないでしょうか。また、車を運転していたら、鹿が飛び出してきて、ヒヤッとすることがありました。
- (北町長) 鹿の問題では、口蹄疫は牛ばかりではなく、鹿に移ったら大変な問題になるということで先般、道の副知事と口蹄疫の予防についてお話しさせていただき、道町村会として要望しました。シカの道路看板ですが、私も上砂川に行く途中 2 回も遭遇したので、よくわかります。
- (委員) アライグマの農業被害はありますか？ 又、駆除はしていますか？
- (北町長) アライグマは結構います。農業被害が出ています。
- (委員) 鹿は駆除しているんですか？
- (三本副町長) 鳥獣保護区の制約があるため、撃つことができなく苦慮しています。
- (委員) マイマイガの件で、対策の予算は入っているのでしょうか？
- (三本副町長) 去年と同じで、オレンジ色のフィルムを貼るようにしています。ナトリウム灯や LED に変更するにしても、ものすごく高価でお金がかかりますので、少しずつ変更していきます。担当の方でいろいろ工夫していて、今は使っていない古い黄色のごみ袋を二枚重ねにしてすっぽり被せてみるなどしています。
- (委員) 観光のことで、不老の滝までの道は今、通れるのですか？
- (三本副町長) そこは道々なのですが、緊急の時以外は崩落の危険性があるため閉鎖しています。町としては観光資源となるので、早く開通してほしいと考えています。
- (委員) 道の駅のことで、建物の前の目立つところの手入れがよくないですね。雑草の手入れをしてください。
- (委員) 町の施設の蛍光灯を LED にする予定はありますか？

- (三本副町長) LED は高価です。良いものなので、飛びつきたいのですが、皆様の税金ですから検討していきたいと思います。
- (委員) 道路の外灯の件です、ごみ袋をかけるといいましたが以前、防犯関係の会議で問題になりましたが、文化ホールややすらぎの家の辺りには、暗くて変質者が出ると聞いています。そういう所を LED に交換するというのはどうでしょうか？
- (三本副町長) 防犯と害虫との兼ね合いで、「もう小さな子どもがいなくなったので防犯灯を消して下さい」というような地区もあります。その都度、地域の連合区長さんを通して地域の皆さんと相談しながら対応して参ります。
- (委員) 定住の件ですが、東川町で人口が増えているとテレビで言っていました。幼稚園と保育所を一緒にしているセンターがありましたが、奈井江の方が札幌や旭川に近いし、12 号線があるのにどうして奈井江の人口が減っているのに東川町では増えているんだろう？
- (北町長) 東川町は、旭川市のベッドタウンになっています。旭川市内と比較すると土地も安いし、水害にも遭わないし、地域づくりにも優れている。奈井江とは、ちょっと地域情勢が違うなという感じです。
- (委員) 分譲するにしても、決まりを作って景観をきれいにしたりできないか？ 推進する人には、特典をあげるとか。
- (北町長) 旭川市と隣接しているから、市内に入るのに 15 分か 20 分で行ける所です。違いはありますが、奈井江町でも地域づくりには知恵を出さなければならぬですね。
- (委員) 直販米の確立ができればなあ、って思っています。農家も高齢化になってきて、70 歳、80 歳で農業をやめるのではなくて、少しでも長く農業を続けて、直販米をしてもらいたい。
- あと、担い手がいないと農業も続いていけないので、パートナーを見つけてほしいと願います。
- それと子育て支援センター。せっかくいい建物ができて、一年間、見てきましたが、物足りない気がします。
- (北町長) 町として出来るだけのことを支援はしますが、直接的には農家の方が頑張らなければならない。農家の方は 60 歳以上が 6 割になり、担い手不足にもなっている。パートナーを見つけることができるよう担当課長と今後どうするか協議を重ねて、アドバイスしていきたい。
- 子育て支援センターは、何が足りないか教えて下さい。
- (委員) 午後からの受け入れがないので、突然のときのために受け入れできるようにしてほしい。ただ、お母さんたちが来て遊ぶだけじゃなくて、意見交換もできるようなものになればいいと思っています。
- 学校に入る前のある程度、子どもたちを育て上げるようにしないと小学校入ったら大変だなと思っているので、そういうところにも力を入れてほしいです。
- (碓井課長) 今日、まさしく 3 番目の課題として、取り上げようとしていたので、今日と次回と皆さんから意見をいただきたいと思います。

(2) 過疎地域自立促進計画について【資料 1】

石川主幹より説明

(碓井課長) この計画は 4 月 1 日から施行されます。この春に法律が決まり、やっと 6 月にその内容が自治体に示されて今、実は計画を作成中です。北海道の事業と町の事業の整合性を図った上で、8 月に一度、北海道から戻ってくるのです。この協議を終えたものを 9 月の議会に上程して、そこで議決をいただき、初めて計画が確定します。そういう作業を今、進めています。

(3) 子育て支援策について【資料 2】

相澤係長より説明

(委員) 英語指導助手は、2 人いた方がよいのではないのでしょうか。

(北町長) 財政事情もあって難しいところですが、参考意見として聞きいておきます。

(委員) 中学校の部活動などで、子どもたちが現地集合ということで、親が現地まで送り迎えすることがあり、大変なのですがどうにかならないのでしょうか。

(北町長) 参考意見として聞きます。

(碓井課長) 我々も担当をしていないということで、お答えできないこともあります。次回の議論までにいろいろと意見を考えていただいて、また議論したいと思います。

(委員) 町 P 連の研究費用が少ない。講演してもらいたいが、相当なコネがないと良い人を呼べない。もう少し、予算が上がりませんか。

(三本副町長) 今、言われたことを整理して議論できる形にしていきたい。

(4) その他

(碓井課長) 9 月 1 日に開町 120 年式典を開催する予定をしています。

式典と併せて、フィンランドのハウスヤルビ町から訪問団がみえ、教育をテーマにシンポジウムを開催したいと思っています。町民委員会の皆様も、平日の午後なのでお忙しいとは思いますが、ご出席下さい。

6.閉会